

主の降誕（日中）

金 大烈 神父

2007年12月25日（火）

クリスマスおめでとうございます。昨晚（イブ）のミサに来られなかった方いらっしゃいますか？手を上げて下さいますか？ それではその方達に特に「おめでとうございます」

今日、私達はうれしい顔をしなければなりません。うれしい顔をして下さい。さあ、ひとつのことを申し上げたいと思います。

ある司祭がいました。その司祭はフランス生まれで、南米、ヨーロッパを回りながら、自分の召命をきちんと果たした方でした。良いこともたくさんあったので名前が知れ渡り、人気者になりました。その人にある時、ある記者が来てインタビューをしました。

「神父様、これは私の個人的な質問なのですが、伺ってもよろしいでしょうか？」

「はい、どうぞ」

「私はいつも気になることがあるのです。私もフランス人であり、幼児洗礼で、今まで信仰の生活をしてきていますが、まだ確信ができません」

「それは何でしょうか？」

「神父様は今までいろんなことをなさってきて、そして、60歳になっていらっしゃいますが、いつかは亡くなりますね」

「はい、そうです」

「もし、亡くなって、天国とか地獄とかそういう所がなかったらどうしますか？ 今まで神父様が信じて、いろいろな人々に伝えてきたことが、全部事実でなかったらどうしますか？ どんな気持ちになりますか？」

「そういうことはありえないと思いますが、もしそうであっても、私はかまいません。私が60歳までやってきたこの道は天国でした。天国の生き方をして本当に幸せな人生でした」と言う告白でした。

私は太田教会に来て皆様と初めて会った時に、このように申し上げました。「条件なしに幸せになって下さい。無条件に幸せになって下さい」と。人間は限りがありますから、条件を作ったら、条件の中にいたら、絶対幸せになれません。これを果さなければ、私は幸せになれない。これを完全に手に入れなければ、私は幸せになれない。という条件付きの人生が私達の人生です。しかし、よく振り返ってみてください。欲しいものを手に入れ時は、たぶん幸せですよ。その幸せはどの位続くのでしょうか？

あの司祭を通して習ってほしいこと。それは、自分の心をこの司祭のように持つことによって、私達の人生が全然変わるということ。それを意識してほしいです。

今皆様は幸せです。ただ幸せであることを気づかないために感じられないだけなのです。どのように感じられるのでしょうか？ よーく感じてみて下さい。

今日はクリスマスです。イエス様が2000年前に来られた理由の一つは、あなた方に絶対変わらない幸せを求めて欲しい、それをあなた方が望むなら必ず与えられるというメッセージを伝えるためだったのです

私達は幸せです。なぜなら（昨日も申し上げましたが）一番大きな理由は、私達は生まれる前から神様に愛されている、今も愛されている、これらも、永久（とこしえ）に愛されるからです。私達は一番大きな力によって一番必要なものを受けています。それを悟るのが信仰です。そうすれば無駄に力を使わずに、無駄に条件をつけずに生きることができて楽になります。皆様の愛する人々の顔をもう一回思い出して下さい。幸せですよ。

「言（ことば）は神であった。…（略）言は民の所へ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じた人々には神の子となる資格を与えた」（ヨハネ1・1～12）

今日の福音ですね。

私達は神の子です。いろいろな心配も苦勞も全部捨てて下さい。それを持っていても良くなることは何भीありません。辛くても、難しい状態でも、その中に幸せを捜してみして下さい。必ずあります。

私達にとって一番大事なものを別の所において、すぐに過ぎてしまうものを捜して動き回っているのが私達の姿です。振り返ってみましょう。私達は幸せにならないためにはならないのです。私達の命が終わって、神様の前に行った時、神様にこう質問されると思います。「あなたは幸せだったか？」その時どのように答えることができますか？

条件も環境も考えないで下さい。心が幸せになれば体も幸せになります。そうしたら、まわりも幸せになります。これが福音の力です。幸せになって下さい。

ありがとうございました。